

## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ミヤコ株式会社  
 コード番号 3424 URL <http://www.miyako-inc.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 末田 勝  
 (氏名) 松田 博幸  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6352-6931  
 平成27年12月10日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,253	△1.6	117	△1.7	127	△5.5	71	△18.2
27年3月期第2四半期	2,289	△8.2	120	△36.8	135	△35.2	87	△32.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	24.21	—
27年3月期第2四半期	29.60	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	4,506	3,313	73.5	1,126.62
27年3月期	4,604	3,275	71.1	1,113.63

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,313百万円 27年3月期 3,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	6.0	395	11.0	410	6.6	270	27.8	91.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	4,587,836 株	27年3月期	4,587,836 株
28年3月期2Q	1,646,964 株	27年3月期	1,646,964 株
28年3月期2Q	2,940,872 株	27年3月期2Q	2,940,872 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における住宅・非住宅向けの管工機材業界におきましては、住宅取得資金贈与の非課税枠拡大や省エネ住宅ポイント制度の施行等、政府による諸施策が打ち出されたことから住宅取得への関心が高まり、新設住宅着工戸数は持ち直しの兆しがみられたものの本格的な回復にはまだ至っておらず、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社ではブランド力のさらなる向上を図るべく、ユーザーニーズに応えた新製品やアイデア製品の開発をはじめ、商品やサービスなどの情報発信力の強化、ニッチ商品の品揃えの充実などに取り組み、全社をあげて業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は22億5千3百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。利益面では、営業利益1億1千7百万円（前年同四半期比1.7%減）、経常利益1億2千7百万円（前年同四半期比5.5%減）、四半期純利益7千1百万円（前年同四半期比18.2%減）で減収、減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産の残高は、前事業年度末に比べて1億1千7百万円減少し、36億円となりました。

これは主に、売上債権が1億8千5百万円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べて1千8百万円増加し、9億5百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の時価が上昇したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて9千8百万円減少し、45億6百万円となりました。

##### (負債)

流動負債の残高は、前事業年度末に比べて1億3千9百万円減少し、11億1千6百万円となりました。

これは主に、仕入債務が1億4千7百万円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末に比べて2百万円増加し、7千6百万円となりました。

これは主に、役員退職慰労引当金を計上したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億3千6百万円減少し、11億9千3百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて3千8百万円増加し、33億1千3百万円となりました。

これは主に、配当金の支払いによる減少はあったものの、四半期純利益7千1百万円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、14億2千3百万円となり、前事業年度に比べ1億2千1百万円の増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1億8千4百万円となりました。

これは主に、税引前四半期純利益を1億7百万円計上したことや、売上債権の減少等で資金の増加があったことによるものであります。

前年同四半期での対比では、営業活動によるキャッシュ・フローは1千万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1千8百万円となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出等によるものであります。

前年同四半期での対比では、投資活動によるキャッシュ・フローは1千3百万円減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は4千3百万円となりました。

これは主に、配当金の支払いによるものであります。

前年同四半期での対比では、財務活動によるキャッシュ・フローは2千8百万円増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点において平成27年8月7日付「平成28年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (非連結)」にて公表いたしました業績予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,301,726	1,423,686
受取手形及び売掛金	1,662,441	1,476,722
商品及び製品	698,841	651,577
貯蔵品	8,235	3,690
その他	47,147	45,682
貸倒引当金	△500	△600
流動資産合計	3,717,890	3,600,759
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	52,232	50,476
土地	343,294	343,294
その他(純額)	17,948	18,203
有形固定資産合計	413,476	411,974
無形固定資産	26,391	32,914
投資その他の資産		
投資有価証券	214,536	230,917
繰延税金資産	43,583	38,305
その他	189,003	191,753
貸倒引当金	△451	△360
投資その他の資産合計	446,672	460,616
固定資産合計	886,540	905,506
資産合計	4,604,431	4,506,265

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	888,648	741,478
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	22,307	37,300
賞与引当金	43,000	43,000
その他	101,245	94,275
流動負債合計	1,255,201	1,116,054
固定負債		
役員退職慰労引当金	67,918	70,703
その他	6,270	6,270
固定負債合計	74,188	76,973
負債合計	1,329,390	1,193,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,952	564,952
資本剰余金	119,774	119,774
利益剰余金	4,486,422	4,513,515
自己株式	△1,966,271	△1,966,271
株主資本合計	3,204,876	3,231,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70,163	81,266
評価・換算差額等合計	70,163	81,266
純資産合計	3,275,040	3,313,237
負債純資産合計	4,604,431	4,506,265

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	2,289,892	2,253,767
売上原価	1,547,694	1,540,775
売上総利益	742,198	712,992
販売費及び一般管理費	622,183	595,065
営業利益	120,014	117,927
営業外収益		
受取利息	0	65
受取配当金	2,851	3,099
仕入割引	20,202	11,961
その他	3,746	3,707
営業外収益合計	26,800	18,833
営業外費用		
支払利息	538	368
売上割引	9,420	8,586
その他	1,806	250
営業外費用合計	11,765	9,205
経常利益	135,048	127,555
特別損失		
下請代金返還金	—	20,349
特別損失合計	—	20,349
税引前四半期純利益	135,048	107,206
法人税等	48,000	36,000
四半期純利益	87,048	71,206



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	135,048	107,206
減価償却費	8,302	12,216
長期前払費用償却額	40	18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,295	2,785
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△449	8
受取利息及び受取配当金	△2,851	△3,165
支払利息	538	368
売上債権の増減額(△は増加)	415,034	185,718
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,109	51,807
仕入債務の増減額(△は減少)	△291,015	△148,415
その他	53,253	△6,605
小計	320,716	201,944
利息及び配当金の受取額	2,851	3,165
利息の支払額	△538	△368
法人税等の支払額	△149,070	△20,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,959	184,436
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,389	△4,042
無形固定資産の取得による支出	—	△11,570
その他	△1,924	△2,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,313	△18,476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△28,520	—
配当金の支払額	△44,059	△43,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,579	△43,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	96,065	121,960
現金及び現金同等物の期首残高	1,142,124	1,301,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,238,189	1,423,686

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。